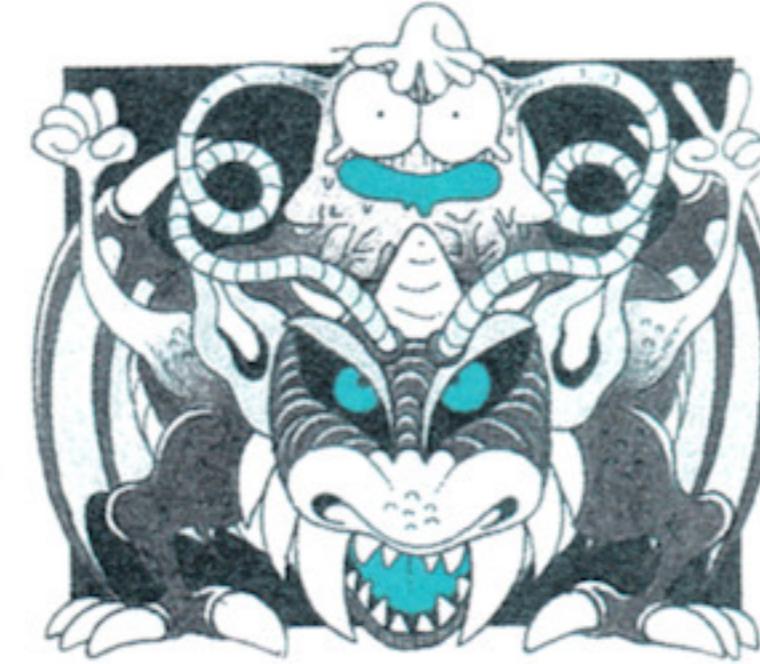


じゃんけんディスク坊主

はるか昔、ディスクワールドは、「大魔王ディスクカイザー」によって支配されていました。人々は、大魔王に服従するだけの苦しい毎日を送っていました。そんなある日、大魔王を封印するべく、1人の若者が立ち上りました。その若者の名は「ディス」。人々はディスに全てを託し、そしてディスは、魔剣を使ってみごとに大魔王を封印しました。その功績は「勇者ディス伝説」として、後世に語りつがれてきました。

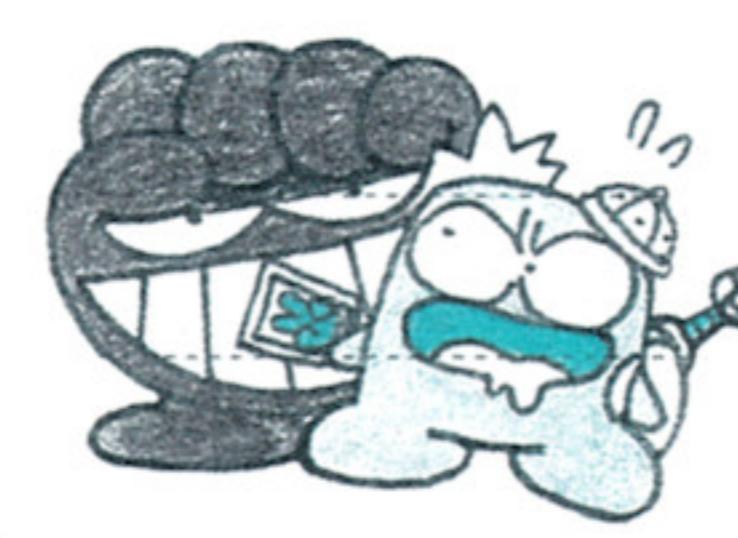
それから数百年後、ディスクワールドに再び異変が起きたのです。



じゃんけんディスク城は、かつて大魔王が治めていました。そこには火、水、氷の3つの塔が立っており、今では大魔王が封印されています。ところが最近になって「じゃんけんモンスター」が3つの塔に棲みつき、大魔王を呼び覚まそうとしていました。それを止めようと、キングキヤツスルの王様は兵士を塔へ送りましたが、なかなか最上階へは行けませんでした。ちょうどその噂が村に流れてきたころ、ブラックは突然姿を消しました。

勇者の子孫であるイエローは、戦う決心をし、王様の便りを待っていました。

さあ、冒険の始まりです。



まずはディスクシステムをセット

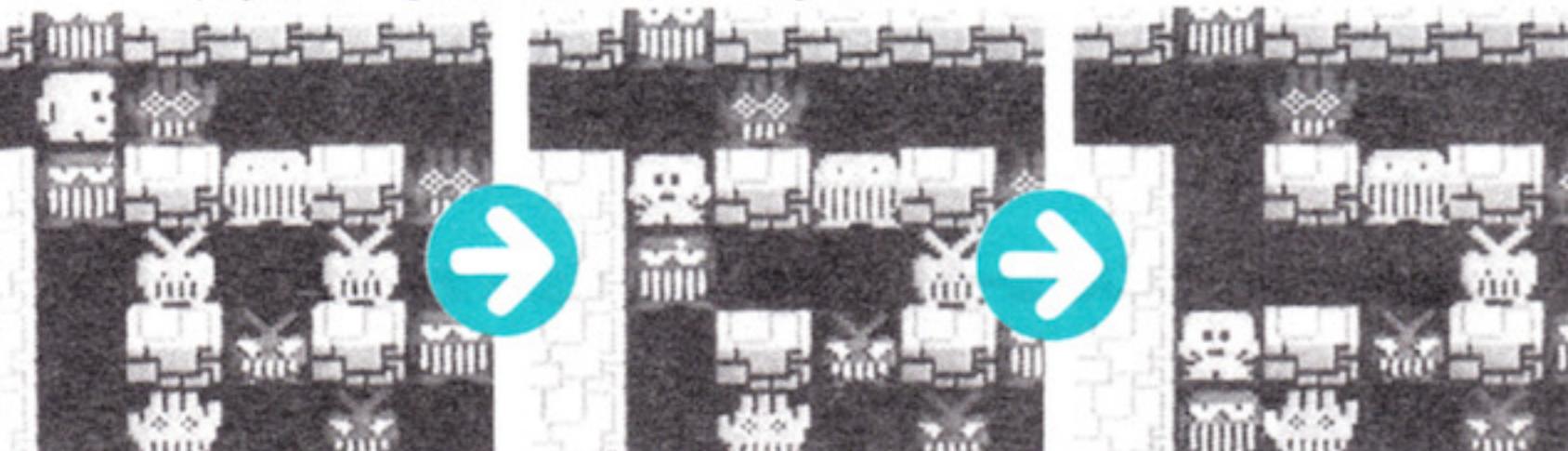
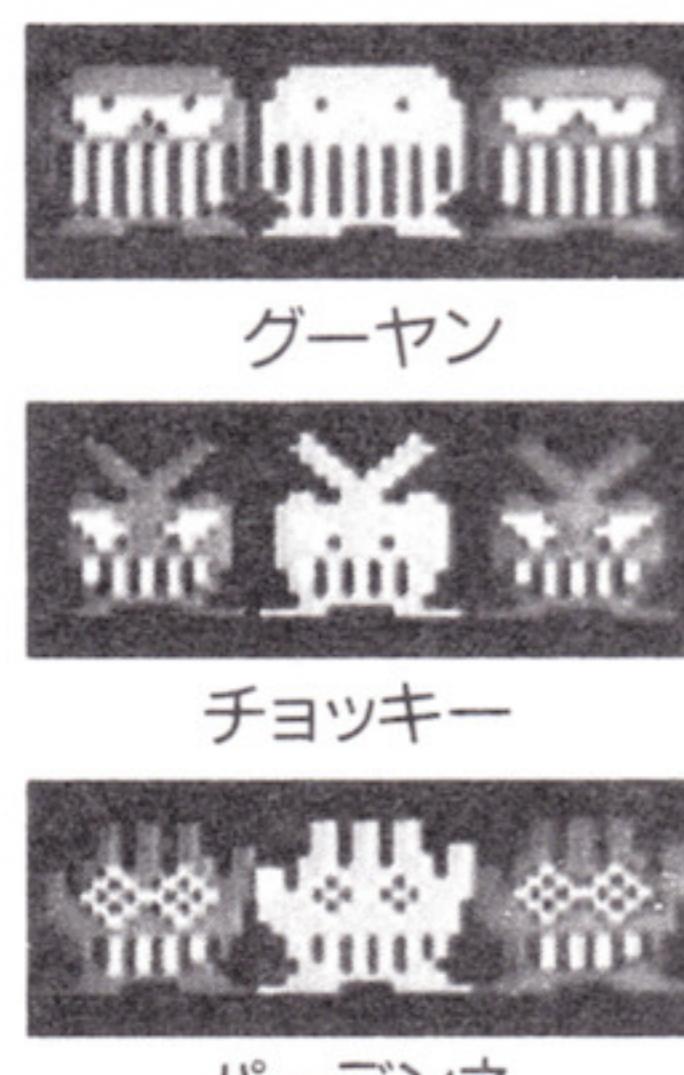
ファミコンとディスクシステムを接続してスイッチを入れます。ディスクカードをセットし、タイトルが表示されたらスタートボタンを押します。「はじめから」を選択して「SET SIDE B」と表示されたら裏返します。



パズルのルール

ゲー、チョキ、パーのじゃんけんモンスターを動かして、階段までたどりつくのが目的です。ルールは、じゃんけんですが、モンスターには赤、黄、緑がいて、それぞれ赤3、黄2、緑1のポイントをもっています。

例えば、赤のゲーを緑のパーにつけるとします。赤のゲーは「3-1=2」で黄色になります。緑のパーは、パーはゲーより強いので、そのままになります。それでは次に、実際のゲーム画面で例を見てみましょう。場所は、氷の塔1階です。

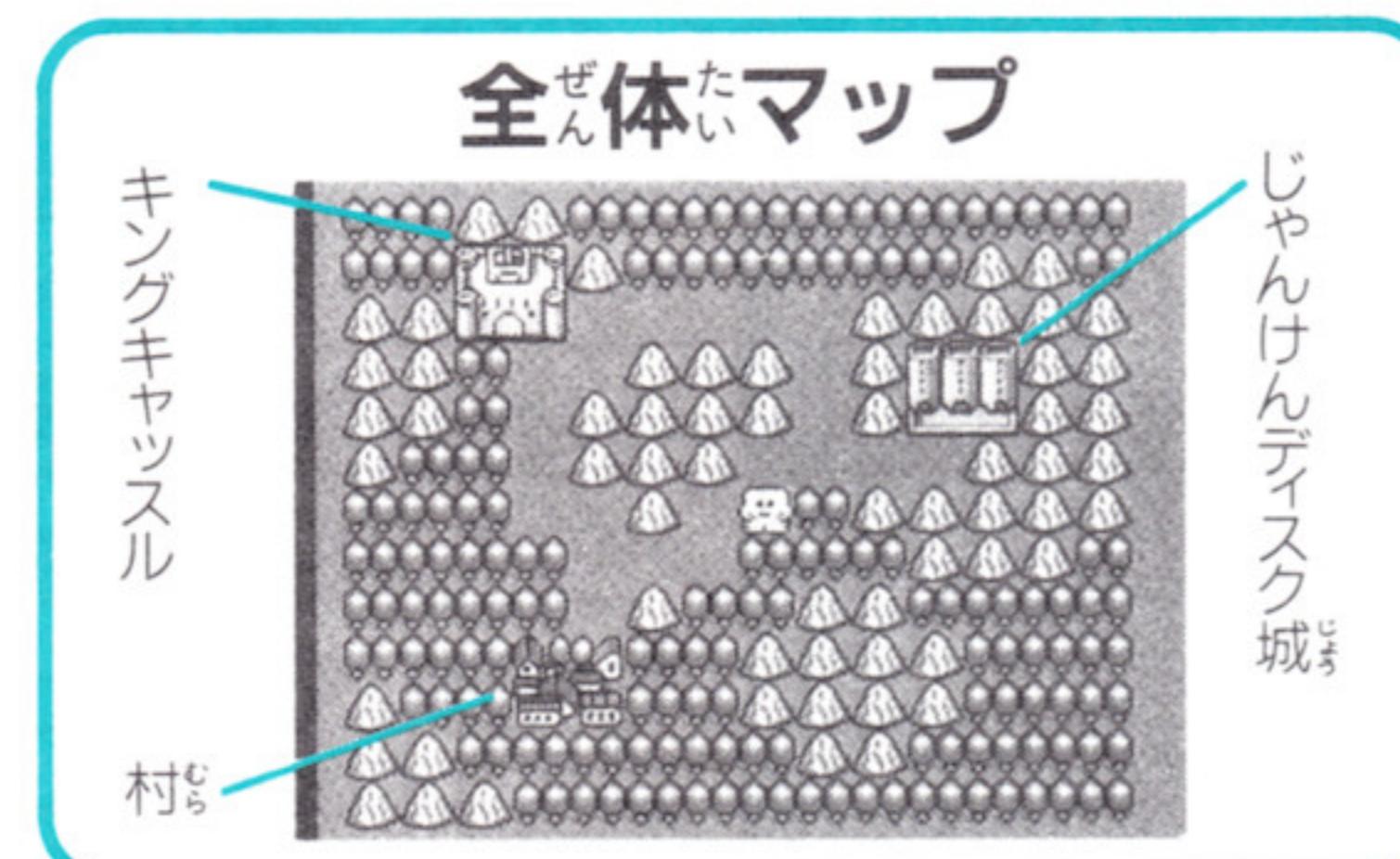


赤のゲーを移動します。途中の黄のチョキは消えますが、黄のパーにふれると緑になります。

操作方法

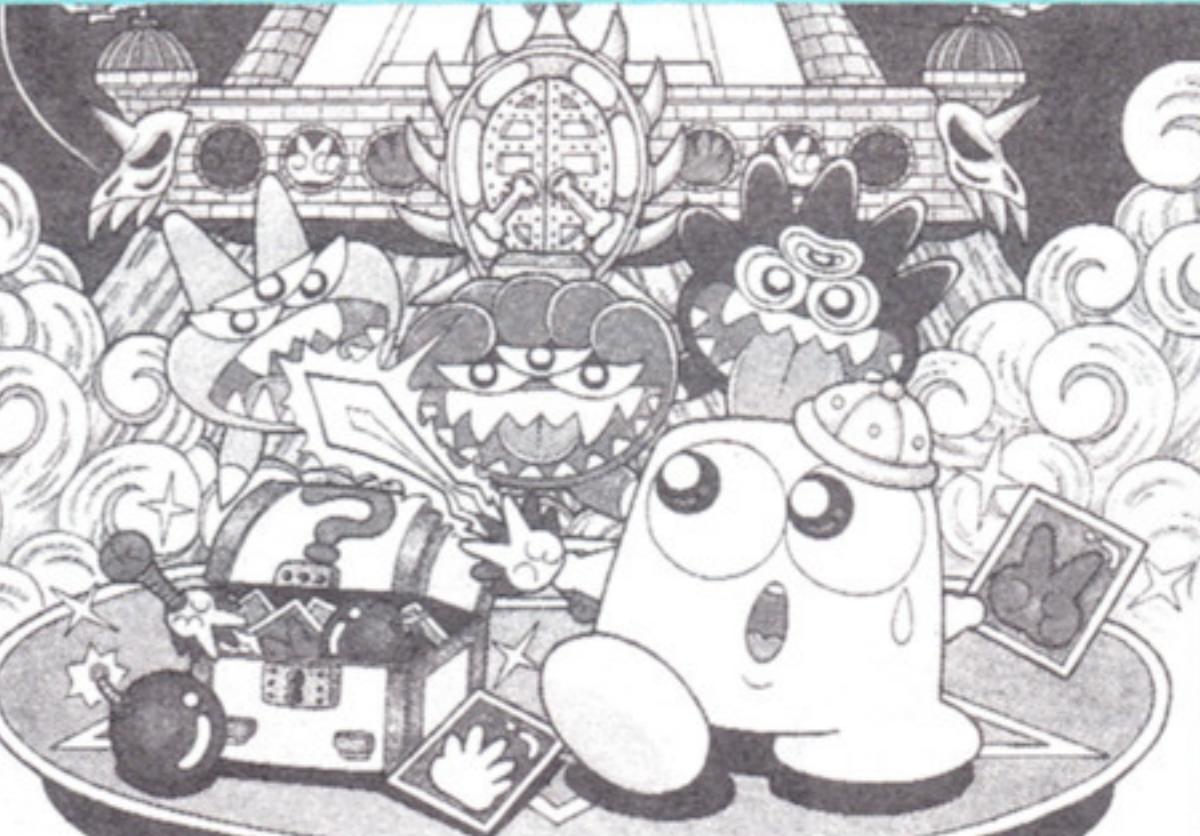
十字ボタン	イエローを上下左右に動かします。カーソルの移動にも使用します。
セレクトボタン	パズル面で、やり直すときや塔から降りるときに使用します。
Aボタン	アイテムを使うとき、コマンドの決定、会話の早送りに使用します。
Bボタン	コマンドをキャンセルするとき、パズル面では1手もどしに使用します。

ゲームの進め方



このゲームは、パズル面とフィールド面で構成されています。パズル面はメインであるパズルゲームで、フィールド面は歩き回つていろいろな人と会話し、ディスク城でのパズル攻略のヒントを得ます。つまり、ロールプレイングゲーム風にゲームは進行していく訳です。

なお、途中のディスクの入れ替えは、画面の指示に従ってください。

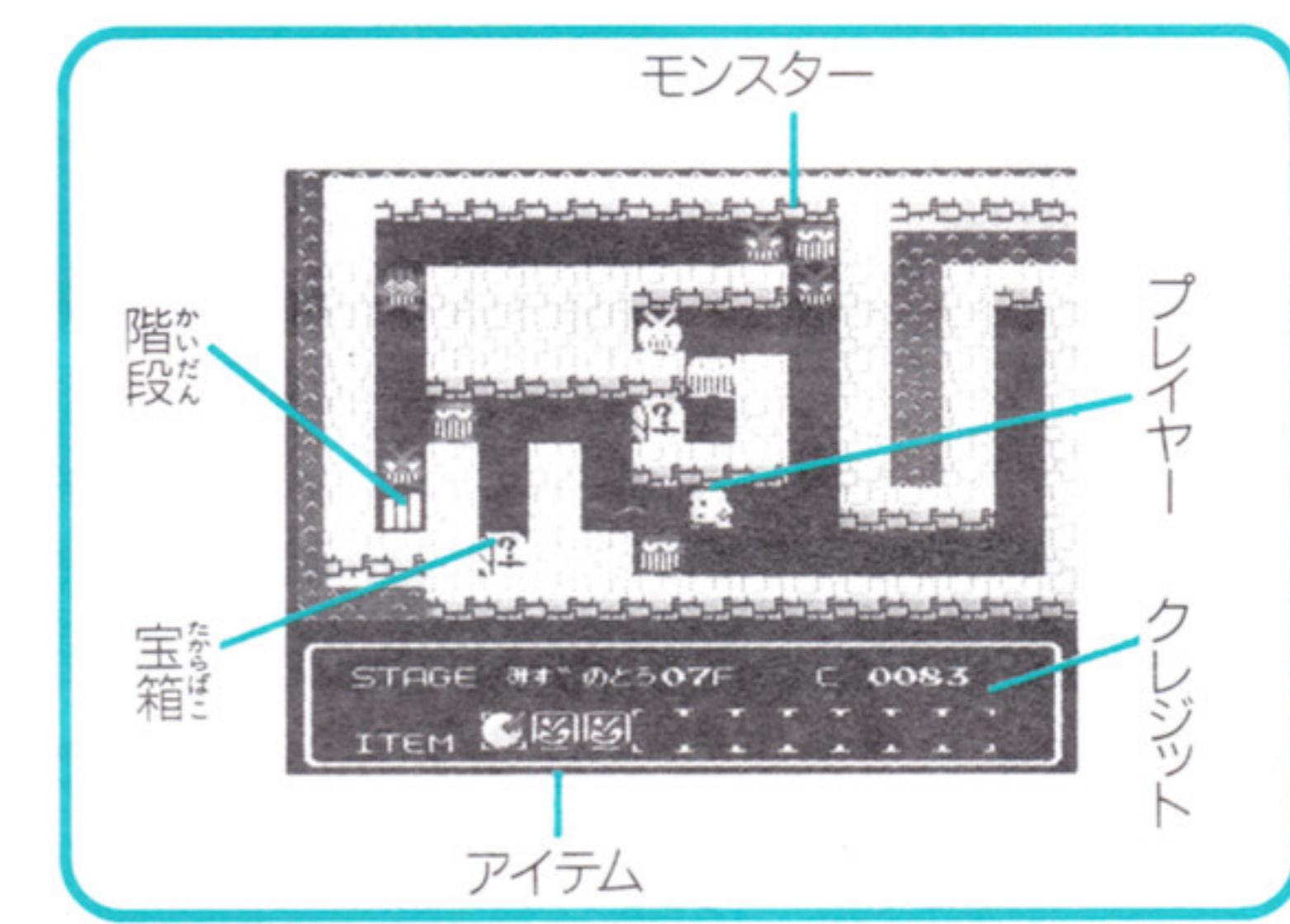


ディスクワールドストーリー

登場キャラクター



●パズル面



火、水、氷の3つの塔で構成されています。1つの塔につき15面+各塔のボス面、大魔王面で合計49面あります。

何回でもやり直すことができ、また、モンスターを倒すとクレジットを得ることができます。

●フィールド面

会話をするだけでなく、アイテムを購入したり、セーブをしたりできます。

アイテムは村のアイテムショップで購入します。パズルがクリアできないときは利用してください。

会話については、相手にふれるだけでウインドウが開いて話ができます。

村長やディスク城の兵士は物知りです。マメに会話をするとゲームを進める上で役立つでしょう。

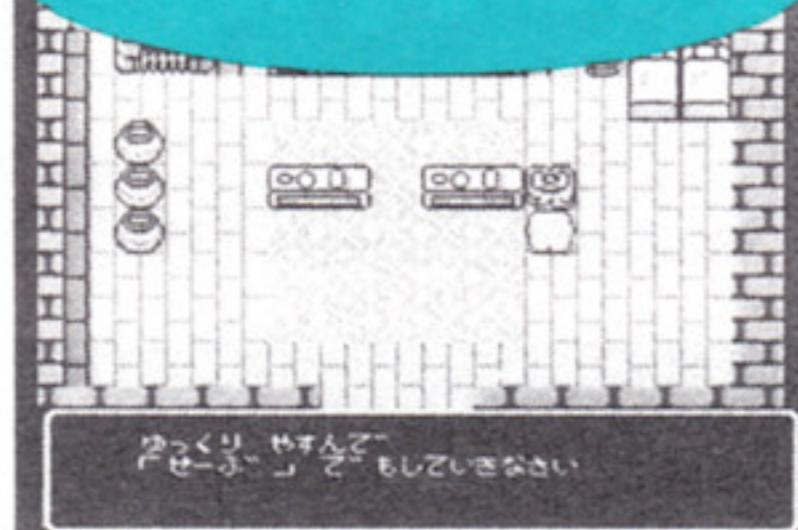
セーブとロードについて

セーブは、村の自分の家で行います。
(最初にイエローガードしたところです)。

セーブできるファイアルは全部で3つあり、クレジット、アイテム等、全ての状況がセーブされます。

ロードはタイトル画面で行います。タイトル画面でスタートボタンを押して、ファイル1から3を選んでロードします。セーブの内容は表示されませんので注意してください。

セーブは自分の家で



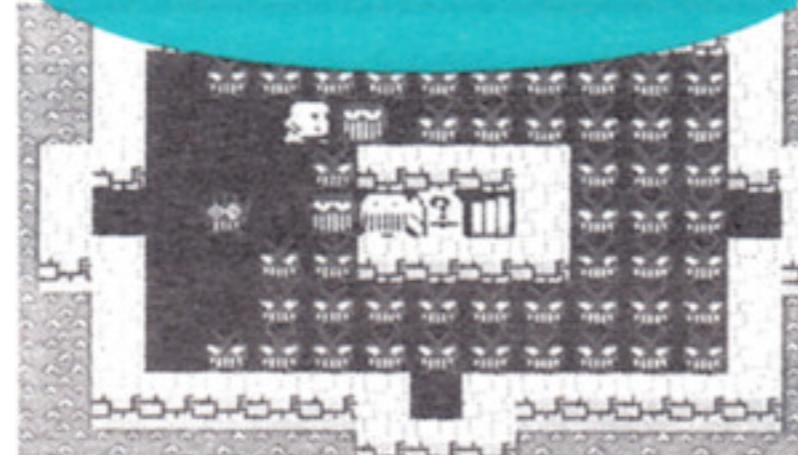
ロードはタイトルで



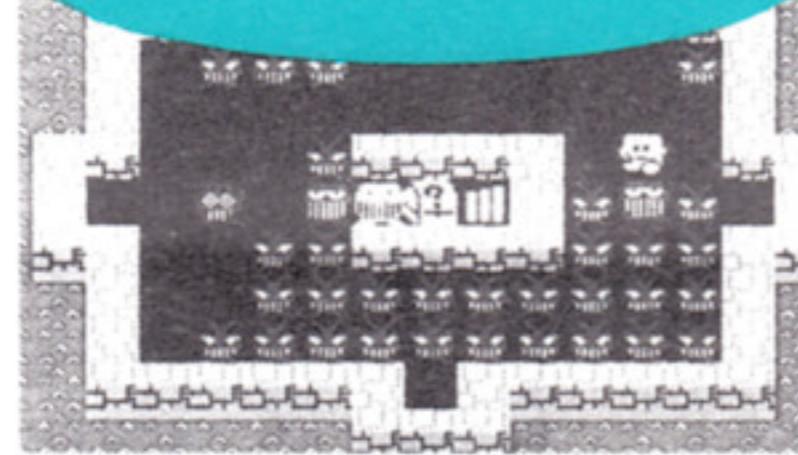
●思ってやってみよう！

このパズルは思いきりが大切です。何回でもやりなおしができますから、どんどん動かしてパズルのパターンを見抜きましょう。一定のパターンを見抜くと、スムーズにクリアできるようになるかもしれませんよ。

とにかく押しちゃえ



なんかイケそうだぞ



ディスクカードはカートリッジよりデリケートです。注意を守って大切に扱いましょう。

●ディスクカードは、湿気や暑さのない風とおしのいところに保管してください。



●ディスクカードはホコリにも弱いのです。保管場所はいつもきれいにしましょう。

●必ずプラスチックのケースに保管して、踏んだり曲げたりしないように気をつけましょう。

●ディスクカードの窓から見える茶色の磁気フィルムの部分は、絶対に指などで触れないでください。もちろん、その部分を傷つけたり汚したりしてもいけません。

●磁石はディスクカードの命取りになります。磁石を近づけるとデータが消えてしまいます。ラジオ、テレビなどにも磁力があるので十分気をつけてください。



（説明文）

じんけん
ディスク坊

アイテム一覧表

●店で売っているアイテム

一回使うと無くなってしまいます。1手もどしをしても、アイテムは戻ってきません。



グー、チョキ、パーの、どのモンスターでも一撃で倒すことができます。



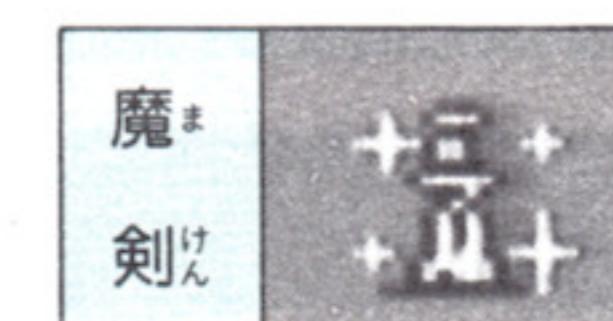
グー、チョキ、パーのモンスターに、1ポイントのダメージをあたえます。



グー、チョキ、パーの3種類があります。カーソルで選んだグーヤン、チョッキー、パー・デンネを、それぞれ対応するアイテムで一撃で倒すことができます。

●見つけるアイテム

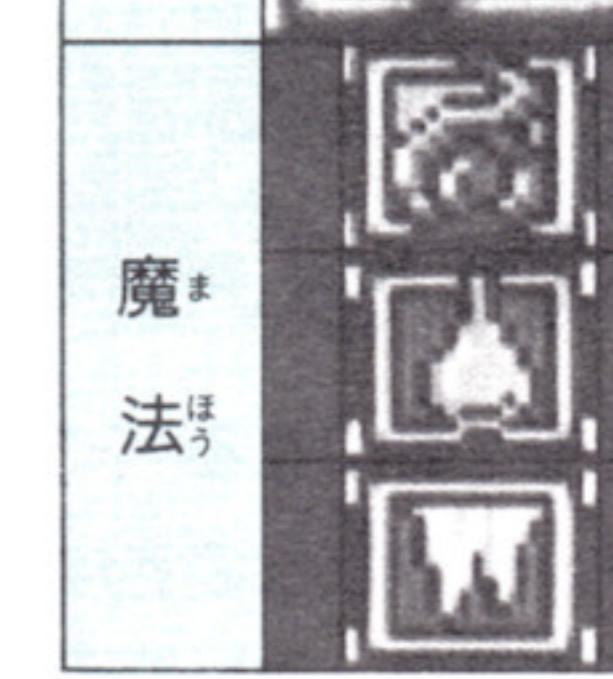
魔剣を除いて、すべて3つの搭にあります。目的の場所以外では使うことができません。



またの名をスーパーチョバといいます。これを大魔王にかざすと……？



ある塔の、あかずの扉を開けるときに使います。ちょっといじわるな場所にあります。



火、水、氷の3種類があります。3つの塔には封印があり、それを解くときに使います。魔力と封印には組み合わせがあり、それが合わないと効果がありません。

パズル解法のヒント

●アイテムで強行突破ばだ！

どうしてもわからないときはアイテムを使いましょう。アイテムを買い込んでさっさと脱出するのも作戦のうちです。アイテムを使うことにより、解法の糸口がつかめるかもしれません。有効に使いましょう。

わかんないよ～



アイテムだ、爆弾だ

●宝箱は要チェック！

宝箱には店で売っているアイテムと見つけるアイテムの両方が隠されています。メモを取っておくと便利です。また、パズル面はアイテムを買わなくてもクリアできるようになっています。がんばって挑戦してみてください。ちなみに、ボスにはアイテムが使えません。補足ですが、クレジットは9999までなので、競い合うのもいいかもしれませんね。

これだけは守もうディスクカードの取り扱い方

ディスクシステムが正常に動作させられないとき

画面に異常を知らせるエラーメッセージがでたら、下の表を参考にして原因を調べましょう！

エラーメッセージ	内容と対処方法
DISK SET ERR.01	ディスクカードが正しくセットされていない。カードを取り出し、もう一度やりなおします。
BATTERY ERR.02	ディスクドライブの電圧が規定値以下になっている。乾電池を新しいものと交換しましょう。
ERR.03	ディスクカードのツメが折れている。ほかのカードを使うか、ツメのところにテープをはる。
ERR.04	違ったメーカーのディスクカードがセットされている。カードをよく確かめましょう。
ERR.05	違ったゲーム名のディスクカードがセットされている。カードのゲーム名を確かめてください。
ERR.06	違ったバージョンのディスクカードがセットされている。
AB SIDE ERR.07	ディスクカードの表と裏が逆にセットされている。カードを確かめください。
ERR.08	違った順番のディスクカードがセットされている。カードをセットする順番を確かめましょう。
ERR.20~40	ディスクカードを買ったお店か、発売元へ相談しましょう。

●ご使用はACアダプターをコンセントから必ず抜いておいてください。

●テレビ画面からできるだけ離れてゲームをしてください。

●長時間ゲームをする時は、健康のため、約2時間ごとに10~15分の小休止をしてください。

ディスクドライブの赤ランプがついているとき、EJECTボタンや本体のRESETボタン、電源スイッチに触れないでください。ディスクシステムの説明書もよく読みましょう。

制作／徳間書店インターメディア株式会社

〒105 東京都港区新橋4-10-7

ユーザーサポート係 TEL. 03-3435-0834

発売／株式会社徳間書店

〒105-55 東京都港区新橋4-10-1

TEL. 03-3433-6231

ファミリー コンピュータ・ファミコン は任天堂の商標です。

禁無断転載

GAME IDEA&ILLUSTRATION/
MASAKI NAKAGAWA

©1992 TOKUMASHOTEN INTERMEDIA INC.